

●分野別計画（骨子）作成にあたっての基本的な考え方

1 施策体系について

- ・基本構想の基本方向の5つの柱と基本姿勢により分類。
- ・現行計画を基に、新たな基本構想や社会潮流を考慮して内容を見直し。
- ・分野・施策についてわかりやすくまとめる。
- ・分野数…現行 43→27
- ・施策数…現行147→98

2 主要事業について

- ・新たな施策体系に基づき、主要事業を計上。
- ・主要事業実績調査（行政評価）の評価単位を基本とし、現行計画よりも事業の括りを大きくする。→総合計画の主要事業を主要事業実績調査（行政評価）の事業と原則一致させることで、効率的に進捗管理を行う。
- ・ただし、詳細の事業内容もわかるように、必要な情報は事業概要として記載。
- ・事業数…約450→約200

# 【まちづくりプラン（分野別計画）のイメージ】

## 2. 分野別計画

基本方向(1)

安全で心安らぐ優しいまち

- 地震や風水害などの自然災害に対し、防災・減災体制の強化や治水対策を推進するなど、災害に強いまちを目指します。

### 分野 1 防災・減災

#### 【現状と課題】

- ・国内では、東日本大震災や熊本地震などの大地震、集中豪雨や大型の台風などによる災害が各地で発生しています。
- ・本市では、天井川や内水河川による水害の危険性、木津川等の浸水、生駒断層や南海トラフによる大地震の恐れがあります。
- ・これまで、避難所運営訓練等を実施し、地域版防災マップの策定を進めるとともに、発災時においては、防災メールや電話、FAXなど様々な手段を用いて情報提供に努めました。
- ・市が進める防災とともに、災害発生前、発生時、発生後の各段階で、市民自ら自助・共助により被害を小さくする減災の取組みが急務となっています。
- ・木造住宅への耐震診断士の派遣、耐震改修費補助を進めるとともに、橋梁や上下水道施設などインフラの耐震化を進めています。

#### 【基本方針】

- ・市民、行政、関係機関が連携して適切に対応する防災・減災体制の強化に努めるとともに、迅速・確実な防災情報の伝達と地域防災力の強化、災害ボランティアセンターとの連携をより密にするなど、危機管理体制の強化を図ります。また、災害復旧活動拠点として防災広場の整備を推進します。
- ・木造住宅の耐震化を促進し、橋梁や上下水道施設などインフラの耐震化を進め、災害に強いまちづくりを進めます。

イラスト・写真

#### 【施策展開】

##### (1) 防災・減災・危機管理体制の強化

主要事業	事業概要	担当課
防災・減災・危機管理事業	避難所運営訓練の実施、自主防災組織の育成支援、防災士資格取得支援、防災情報伝達の充実と避難環境の整備による地域防災力の強化。職員参集メールの活用などによる庁内体制の充実。災害ボランティアセンターなど関係機関と連携した広域受援体制の整備	安心まちづくり室
防災広場整備事業	京奈和自動車道田辺西IC西側における災害復興活動拠点として防災広場の整備を推進	安心まちづくり室

##### (2) 災害に強いまちづくり

主要事業	事業概要	担当課
住宅耐震化等促進事業	木造住宅耐震診断士派遣、耐震改修費補助及びノウハウ等の撤去費補助事業の実施	開発指導課
橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修工事を行うとともに、跨道及び跨線橋について、耐震補強及び落橋防止対策を行うことにより、道路交通の安全を確保し、また維持管理経費を節減	都市整備課
……		

#### 【関連計画】

- ・京田辺市地域防災計画